



エネルギー研究開発拠点化推進会議

22年度推進方針を決定！

福井を国際的な原子力人材育成の拠点へ！！

今年で5回目となるエネルギー研究開発拠点化推進会議が、11月15日にエネ研で開催され、22年度の推進方針を決定されました。



西川福井県知事

今回の会議では、16テーマの基本施策や6つの重点施策の早期実現に向けた活動の推進と、新たな重点施策として「国際原子力人材育成センター」(仮称)の設置が確認されました。

このセンターは、アジアを中心とした世界的な原子力開発推進の流れの中で、原子力関連技術者の育成が急務である現状を踏まえ、『アジアの安全技術・人材育成への貢献』を目的に、国内外の研修生や学生などを受け入れるものです。

最後に西川知事は、国や事業者等に、平成23年、24年に次々に完成する施設の連携的な運用展開、企業誘致対策、電気・エネルギー関連の必要な制度の継続実施などを求めました。



議長の県経団連川田会長



産業界、電力事業者、大学・研究機関、国、県および地元自治体などの代表者

今回決定された重点施策のトピックス

国際原子力人材育成センターの設置

「アジアの安全技術・人材育成への貢献」を目指し、原子力先進県の本県を国際的な原子力人材育成の拠点としていくため、国内外の研修生等の受入れ総合窓口となる機関として「国際原子力人材育成センター(仮称)」を設置する。

(スケジュール) 21年度内 国際原子力人材育成協議会の設立

23年4月 国際原子力人材育成センターの設置、運用開始

【県、若狭湾エネルギー研究センター】

国、県、事業者等で構成する国際原子力人材育成協議会において、アジアをはじめとした海外からの研修生等の受入れのため、総合窓口となる機関の組織体制や本県独自の受入制度等を検討

【電力事業者、日本原子力研究開発機構、プラントメーカー等】

協議会に参画し、国際原子力人材育成センターのあり方について検討

【国】

協議会に参画し、国際原子力人材育成センターのあり方について助言等を行うとともに、研修生等受入体制の充実にに向けた取組みを支援

嶺南新エネルギー研究センター

若狭地域への大規模太陽光発電設備の整備

(スケジュール)

(関西電力)

22年度 基礎研究の開始

23年度 研究成果の評価検証

24年度目途 大規模太陽光発電設備の整備開始



整備イメージ

第 11 回 研究報告会のご案内

日時 平成21年12月9日(水) 13 時 ~ 16 時 20 分
 場所 福井大学文京キャンパス総合研究棟 13 階会議室
 プログラム 福井市文京3 - 9 - 1

開会 挨拶

(財)若狭湾エネルギー研究センター理事長 旭 信昭
 国立大学法人 福井大学長 福田 優
 座長: 研究開発部長 峰原 英介

新型ヒートパイプBACHの開発研究

[13:15 ~ 13:35] 福井大学准教授 永井二郎

飽和水蒸気雰囲気におけるシリカ上担持 V2O5·nH2O の
 構造変化

[13:40 ~ 14:00] エネルギー開発グループ主査研究員 西尾 繁
 ポータブル蛍光 X 線装置の開発

[14:05 ~ 14:25] エネルギー材料グループ主査研究員 安田啓介
 若狭湾エネルギー研究センターにおける粒子線治療、
 臨床・基礎 [14:30 ~ 15:50] 粒子線医療研究室長 山本和高
 粒子線医療研究室主任研究員 久米 恭

14:50 ~ 15:05 休憩

イオンビーム照射によって変異誘導された冬虫夏草菌に
 よる生理活性物質の効率的な生産法の開発

[15:05 ~ 15:25] 福井大学教授 榊原三樹男

実験前立腺癌に対する陽子線照射効果の共同研究

[15:30 ~ 15:50] 福井大学助教 三好憲雄

プラズマ処理による高強度炭素繊維 / プラスチック複合材
 料の創製

[15:55 ~ 16:15] 京都工芸繊維大学准教授 奥林里子

閉会 挨拶

(財)若狭湾エネルギー研究センター所長 小林紘二郎

参加申し込みは、企画管理部まで

原子力を学ぶ大学生に出前講義を実施



福井工業大学では、4 回生の「工学倫理」として 4 時限の講義が行われ、エネ研の来馬専務理事が福井の原子力、事故故障、エネルギー研究開発拠点化計画などを講義しています。

ふくい新技術・新工法展示商談会

in 大和ハウス 11月6日

大和ハウス工業(株)総合技術研究所(奈良市内)で開催され、エネ研も出展して紹介しました。



エネ研が発明し開発している、ポンプなしで自動的に気泡駆動する新型ヒートパイプを家屋回りで利用する方法を提案、紹介しました。

写真右下の 印が、その説明用の模型です。

谷本石川県知事

陽子線がん治療施設を視察

エネ研で開催された福井・石川両県知事会議に出席した谷本正憲知事が、会議後にエネ研のがん治療施設を視察しました。



エネ研での治療研究は、合計 62 名に達し、本年度で終了する予定です。この成果は、平成 23 年春完成予定の福井県陽子線がん治療センター(仮称)での治療に活かされます。

エネ研の来馬専務理事に

原子力安全功労者表彰



1972 年以來の長きにわたる、福井県での原子力安全行政の功労が認められ、21 年度の経済産業省原子力安全功労者表彰(15 名)に選ばれました。



Asia-Pacific
 Economic Cooperation

成功させよう 2010 年日本 APEC(エイパック)

